



3月の予定

○:毎週(火・金曜日)・第4土曜日 カフェオープン 11:00~15:00
■:リズム体操 ●:ピアノ生演奏 ★:にこにこサタデー

2018年

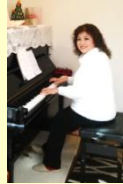
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	○				○			■				○			●				◆			○	★			○				○

■ 3/9 (金) リズム体操 13:30~



〈出原佳代先生〉
深呼吸から始まる体を元気にする体操。音楽に合わせてゆったりと無理なく体を動かして、血の巡りを良くしましょう。

● 3/16 (金) ピアノ生演奏 13:30~



〈田代妃歌梨先生〉
ピアノの生演奏と楽しい歌の時間を過ごしましょう。



◆ 3/20 (火) 認知症相談会

11:00~14:00

〈奈良市包括支援センター 職員在中〉



★ 3/24 (土) にこにこサタデー

〔田原新鮮野菜販売〕
11:00~14:00



〔日本民謡となつかしの歌〕
「太郎と花子さん」 13:30~



法隆寺の釈迦三尊像は、中央に釈迦如来、左に文殊菩薩、右に普賢菩薩が配置され、文殊菩薩は智慧の象徴、普賢菩薩は修行の象徴、お釈迦さまのように悟りを開くためには、智慧と修行のバランスが必要であるという意味がこめられています。文殊菩薩と言えば、「阿部文珠院」「三人よれば文殊の知恵」と学問の神様として信仰されています。智慧は本来、「悟りを開くための方法」「真理を見極める認識力」でしたが、いつのまにか一般的な知恵や知識の象徴となりました。

さて、その文殊菩薩、「供養したいと思うならば、文殊菩薩は、貧窮孤独苦悩の衆生となり現れるであろうから、彼らに施給することは文殊菩薩を供養することになる」といわれます。

文殊菩薩をお祀りして、人々を救い教化し、みなしごを養い育てることを祈願する法会を、その昔文殊会(もんじゅえ)といっていました。起源は淳和天皇の頃、奈良の元興寺と大安寺において、飯を包み、菜を加えて施す社会福祉事業として始まりました。やがて国家恒例となり諸国で行われましたが、平安期末期に衰退しました。興福寺では839年より始められ、今もなお4月25日興福寺東金堂にて文殊会が開かれ、かわいらしいお子たちが三条通りを五重の塔までねり歩きます。

又、近鉄奈良駅噴水の行基さんは「文殊菩薩の化身」と呼ばれています。ある時、行基さんが温泉に入っていた病人に「私の体の腫れの膿を吸い出してほしい」と頼まれ、行基さんは言われるとおりにしました。すると病人の身体から金色に輝く仏様が現れ、「あなたの慈悲深さに感動しました。私はこの温泉の行者です。この温泉を民衆に開放し、多くの病人の人を救ってあげて下さい。」と言われたのです。

奈良時代の光明皇后もかしらです。

奈良には福祉の原点がいくつもあります。この地で先人たちの功績に感謝しつつ、私たちも福祉の発展に寄与して参りたいと存じます。

